

## 第２回 珠洲の未来を考えるワークショップ（中学生） 実施報告

実施概要	
主 旨	珠洲市復興計画を策定するにあたり、珠洲市の将来を担う子どもたちがまちづくりに ついて考える機会とする、市内の小中学生対象のワークショップを実施する。6、7 月に実施した各学校での第1回ワークショップを受け、第2回は <b>オンラインも併用し 市内各学校を横断して実施することで、児童生徒の考えを広げ、深める機会とする。</b> 発案いただいたアイデアやプロジェクトは復興計画の施策の取り組みとして検討す る。
日 時	令和6年12月16日(月) 13:40～15:10
開催形式	オンライン併用方式
開催場所	本会場：珠洲市産業センター2階 サテライト会場：各学校
対 象	市内中学校1～3年生 全生徒（うち、各学校から数名ずつ代表者を選定）
内 容	第1回ワークショップで出た意見や先進事例、珠洲市民アンケート結果などの情報を 共有し、未来の珠洲市のまちづくりについて考えてもらい、グループごとに議論、発 表をしてもらった。代表者が集まっている会場、各学校、それぞれグループに分かれ て、同じ内容で議論した。 中学生は「こんな珠洲市になったらいいな」というまちづくりプロジェクトを企画し た。 グループワークの後、会場のグループに発表してもらい、オンライン参加者も発表 を聞いて考えを広めたり深めたりする機会となった。また、グラフィックレコーデ ィングの専門家に発表内容をグラフィックにまとめてもらい、専門家から発表して いただいた。

## ●ワークショップ全体とりまとめ

**第2回 珠洲の未来を考えるワークショップ：中学生** ① 2024.12.16

「珠洲市でこんなことやってみたいな、  
みんなで取り組んでみたいこと」をプロジェクト化しよう!

○各グループの検討テーマ

＜A＞ 『お店×遊び場×交通・道路』  
＜B＞ 『住居×遊び場×お店』  
＜C＞ 『防災』  
＜D＞ 『お祭×イベント×お店』

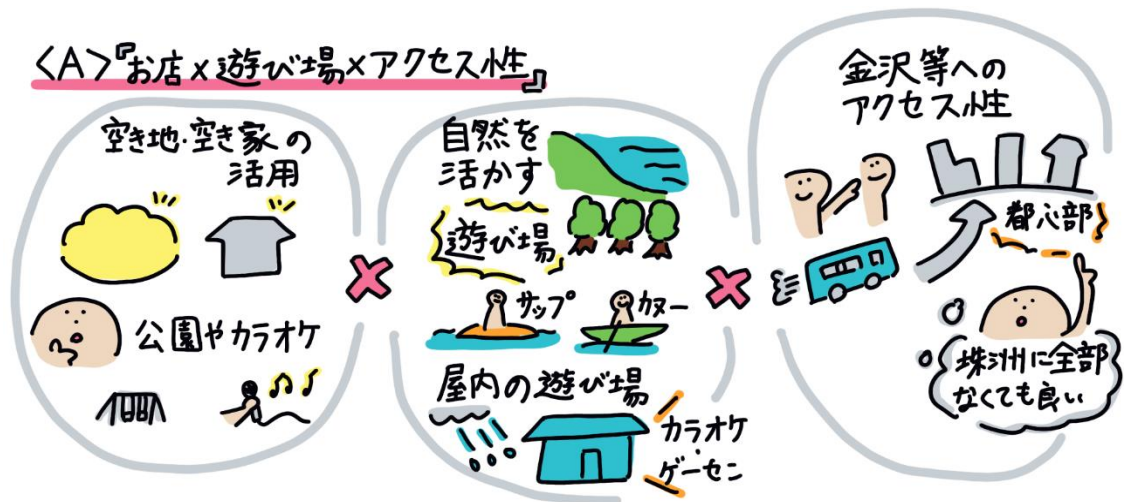
○グループ内で意見交換

空き地・空き家の活用  
雨が降っても遊べる  
情報発信でつながる  
空き地  
空き家  
住み場所を増やす  
みんなで集まる飲食店  
避難訓練  
田舎で復旧が遅い…  
情報が手に入りにくい  
楽しいイベント  
食べ物が美味しい  
あちこち広場・集会所  
防災の対策を知らず  
・どう山祭り  
・キリコ祭り  
・のし祭り  
・お祭りが楽しい

○オンライン参加者の意見

若者が来てもらえるまちづくり  
珠洲文化館を作る  
空き家・コワーキング活用  
SNSで観光地の良さを発信  
独自ブランドの立ち上げ  
シーサイドキングダム  
アーティストが公園の遊具を作る

●企画したまちづくりプロジェクト



●議論の内容

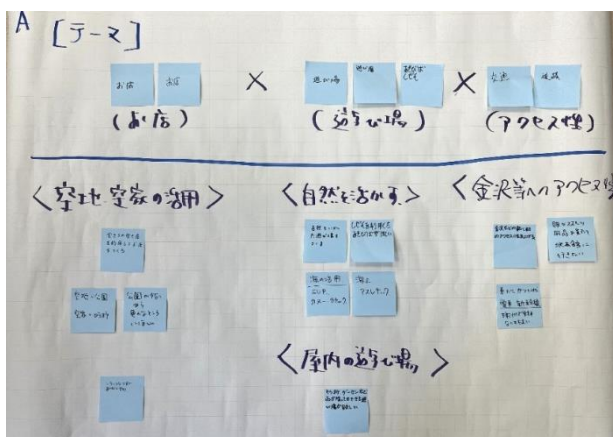
〈テーマ設定〉

- 「お店」、「遊び場（自然も含む）」、交通や道路環境整備等の「アクセス性」という大きく3項目が挙げられた。道路環境に関しては、特に地震の影響で、道路の凸凹や亀裂等の被害が発生したため、直してほしいという意見も含まれた。
- テーマについては、特段絞らずに「お店×遊び場×アクセス性」とし議論を始めた。

〈こんなまちになったらいいな、自分たちがやってみたいこと〉

- テーマに対する具体的なアイデアとしては、「空き地・空き家の活用」、「珠洲の自然の活用」、「屋内の遊び場づくり」、「金沢市などへのアクセス性確保」という4点が挙げられた。
- 空き地・空き家活用では、空き地空き家を利用してお店をつくる、空き地を公園にできないか、お店が日替わりでいろいろ楽しめるとよいというアイデアが出た。
- 珠洲の自然の活用では、自然を生かした遊び場を作ることや、海でカヌーや SUP 体験ができるとよい、海上アスレチックがあるとよいなどのアイデアが出た。
- 屋内の遊び場では、雨が降っても遊べる空間が欲しいというアイデアが出た。
- 金沢等へのアクセス性について、珠洲市に商業施設等をすべて揃えなくても、金沢等へのアクセス性を高めることで、洋服やスポーツ用品を買ったり、映画館に行く等、やりたいことができるのではないかと意見があった。

●模造紙



●グループの様子



## ●企画したまちづくりプロジェクト



## ●議論の内容

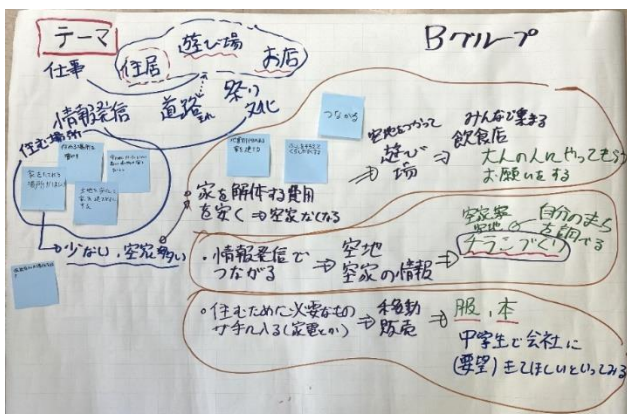
### 〈 テーマ設定 〉

- ・ お店、道路、住居、遊び場、買い物、仕事、情報発信など、参加者の関心は多様。
- ・ 重なる部分が多そうな、「居住」を中心に、遊び場、お店を関連付けて話をスタート。

### 〈 こんなまちになったらいいな、自分たちがやってみたいこと 〉

- ・ 空き地や空き家が増える中で住宅が増えるためには、「情報でつながることが大事」という意見があり、そこを深掘りする中で、中学生ができる具体的な取り組みとして「チラシづくり」というアイデアが浮かんだ。住んでいる自分たちが、自分のまちの空き地や空き家の情報を集め、発信することで、住宅が増え、まちを再生させたいという想いであった。
- ・ また、空き地を活かして、中学生が放課後に集まれる場所が欲しいという声にも賛同するメンバーが多く、具体的には「みんなが集まれる飲食店が欲しい」という意見にまとまった。
- ・ 住むためには、住居だけでなく必要なものを手に入れる必要もあり、「移動販売の充実」、特に服と本が欲しいという声が多く出た。小さな一歩として「中学生から企業に、お願いのメッセージを送ったらどうか」というアイデアも共感を生んだ。

## ●模造紙

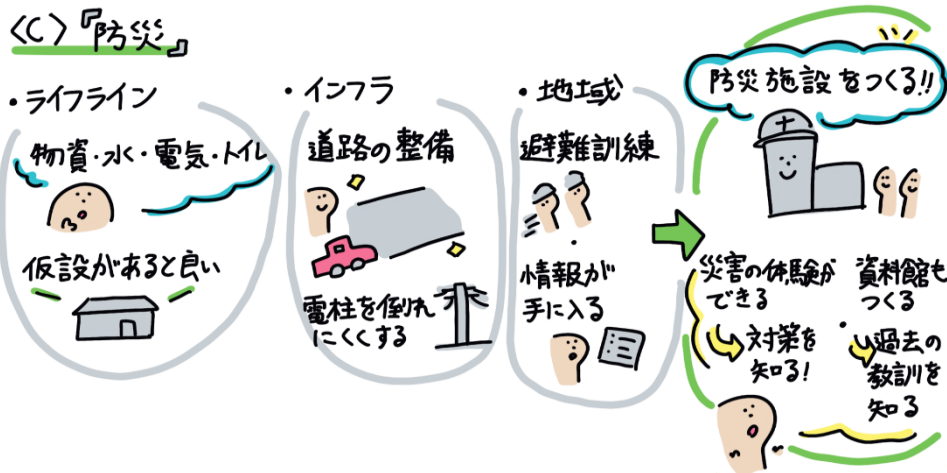


## ●グループの様子





●企画したまちづくりプロジェクト



●議論の内容

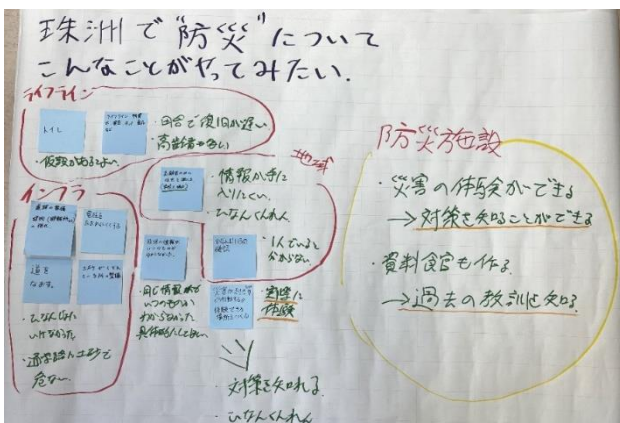
〈 テーマ設定 〉

- ・ 防災、自然への興味が多く、その他は暮らしが挙げられた。
- ・ 最も意見の多かった「防災」を軸に、自然や暮らしに結び付けられたら良いという流れで意見出しを始めた。

〈 こんなまちになったらいいな、自分たちがやってみたいこと 〉

- ・ 発災時に困ったこととして、電気、水道、通信が使用できない、復旧が遅いというライフラインに関する意見が挙げられ、それゆえにトイレが使えずに困ったという問題があった。
- ・ インフラについては、建物の倒壊により避難路が塞がり、避難場所まで行けなかったという発災時の問題や、通学路が崩れている、土砂崩れ箇所が危ない、怖いといった現況の問題も意見として挙がった。
- ・ また、「親といたから避難できた、一人だったら避難路や避難場所が分からない」、「高齢者は避難が大変である」といった意見が挙げられた。
- ・ 以上のことから「災害が起きたときにどのように行動すべきか」ということを事前に認知することが重要であるという共通認識が生まれた。
- ・ その取り組みとして、「災害を再現する実験施設を作り、災害を体験しながらその場での対応方法を学ぶ」、「今回の震災と豪雨災害での経験を記録し、資料として残し、上記の施設に資料館を併設する」という意見にまとまった。

●模造紙

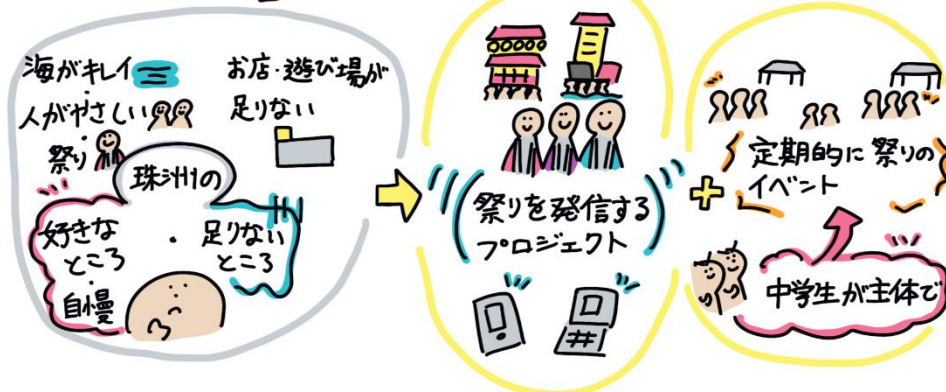


●グループの様子



## ●企画したまちづくりプロジェクト

### 〈D〉『祭り×お店』



## ●議論の内容

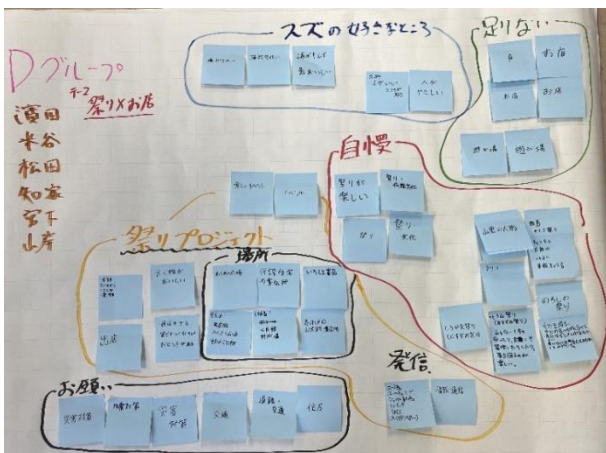
### 〈テーマ設定〉

- 半数の生徒は、第1回のワークショップ参加の有無を覚えておらず、振り返りも兼ねて珠洲の好きな所、足りないところの意見出しから行った。
- 珠洲の好きなところは海がキレイ、人が優しいという意見が多く、お店や遊び場が足りないという回答となった。服などの買い物はいつどこで？と確認すると、大半の生徒が土日に保護者と車で金沢へ行くとの事だった。
- その後、珠洲の自慢できる事を聞いていくと、過半数の生徒は祭りが楽しいという意見を出し、そこから祭りの楽しさで珠洲の魅力を発信する、共有するという展開となった。
- 各地区の祭りの種類やその特色を掘り下げて聞いたところ、キリコやヨバレの話、出店の話、祭りの賑やかな音などの意見が出て、各地域でも祭りの内容が違うように感じた。生徒は基本的に自分たちの地区の祭りを把握しているが、他地区の祭りは把握できていない模様。共通しているのは出店の楽しさや、ヨバレでのもてなし、祭りの音が楽しいとのことだった。

### 〈こんなまちになったらいいな、自分たちがやってみたいこと〉

- 祭りの楽しさを全国に PR、情報発信して人を珠洲に呼び込むことをプロジェクトとして定め、その手法として、中学生が主体で各地区の公民館などで撮影した祭りの映像や音楽による PR、キリコの展示などをして祭りの期間以外に PR する場を設けるとなった。ヨバレや出店の食に関しては、保護者に協力してもらい、映像、音、キリコ等の実物、食を簡易的に再現するというイメージ。情報発信の媒体としては、SNS を主体に行う。
- 中学生が主体となりそのプロジェクトを進める一方、珠洲に人が安心してきてもらう為に、災害対策や道路網の整備、住居の整備などを行政に進めて欲しいという願いも出た。

## ●模造紙



## ●グループの様子



## サテライト会場

(宝立小中学校後期課程、緑丘中学校、三崎中学校)

### ○サテライト会場の進め方

各学校をオンラインで接続し、本会場と同様のお題に基づいて意見交換を進めた。進め方としては、各学校の先生がファシリテーションを行い、生徒の意見を模造紙にまとめた。

### ○意見の共有方法

生徒からの主な意見やプロジェクトは、Zoomのチャットに投稿した。また、本会場のグループは接続カメラに向かって発表を行い、その内容をサテライト会場に共有した。時間の都合上、サテライト会場からの発表は割愛したが、チャットで共有された意見は全体グラフィックに掲載し、グラフィッカーより全体へ共有いただいた。

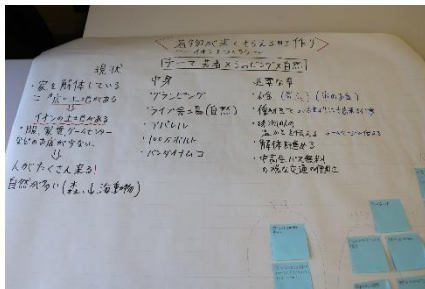


全体共有の様子

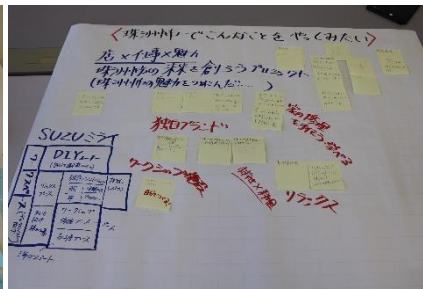
中学校	主な意見/企画したプロジェクト
三崎中学校①	若者×ショッピング×自然⇒「若者が来てもらえるまちづくり」 ○ 服屋、家電店、ゲームセンター+自然を活かしたライブ会場、グランピング施設を兼ね備えたショッピングモールの建設
三崎中学校②	お店×仕事×魅力⇒「珠洲市の未来を創ろうプロジェクト」 ○ 遊び場、仕事場（コワーキング、レストランなど）、DIY、ワークショップブースが備わった施設を整備 ○ 特産やアートなどの独自ブランドの活用
宝立小中学校①	祭り×自然×学び ○ 空き家・コンテナボックスを活用した、食を楽しむ歴史を学ぶ文化館を設置 ○ 文化館は中学生がボランティアとして運営、学校での成果物を展示
宝立小中学校②	文化・祭り×自然⇒「観光客・人口が多い、活気のある珠洲市にしたい」 ○ SNSで観光地の良さを発信 ○ 道路と公園の整備 ○ 文化、祭り、イベントなどの復興
緑丘中学校①	祭り×人々⇒「祭りを広める、人を呼ぶ」 ○ 祭りや里山里海、観光地、復興、歴史の発信 ○ 発信方法：SNS・インターネット、YouTuberとコラボ、ポスター、ツアー
緑丘中学校②	珠洲市にあったらいい遊び場 ○ 放課後に集まれる場所（カフェ、ゲーセン、カラオケ、ラウンドワンなど） ○ 学習できる場所（カフェ、未来館） ○ プールやサウナなどの温浴施設
緑丘中学校③	お店 ○ 自然を活かした施設、遊び場（フォレストアドベンチャー、水上アスレ） ○ ショッピングモール、チェーン店、水族館、動物園、映画館
緑丘中学校④	珠洲市にあったら良いお店 ○ ショッピング（ショッピングモール、服屋、100均） ○ 温浴施設 ○ 遊び施設（ラウンドワン、ゲーセン） ○ 食（サイゼリヤ等チェーン店）
緑丘中学校⑤	遊び場⇒「シーサイドキングダム」 ○ 市長を模したキャラクター、カニキング、たこキング ○ テーマパーク ○ 自由に音楽ができる場所 ○ 室内遊具施設
緑丘中学校⑥	祭り ○ キリコ祭りの時間延長、夜店増加、SNSでの発信 ○ 有名人を呼んでイベントを開催 ○ 祭りのためにも道路復旧
緑丘中学校⑦	遊び場 ○ 複合型ショッピングセンター ○ 大型テーマパーク ○ 珠洲の魅力を活かした取り組み（海中カフェ、木の上カフェ、見附島、塩）
緑丘中学校⑧	遊び場×お店 ○ チェーン店（食、服、100均など） ○ 商業施設（遊園地、ドーム） ○ 観光施設（映えスポット、心霊スポット）



## 模造紙



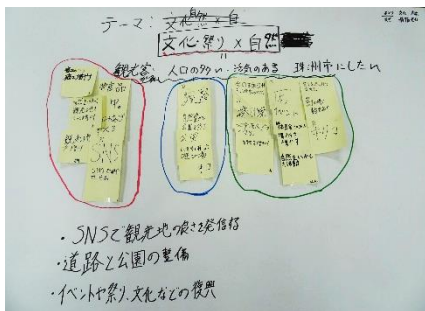
三崎中学校①



三崎中学校②



宝立小中学校①



宝立小中学校②



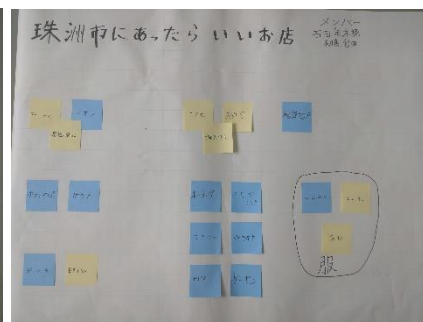
緑丘中学校①



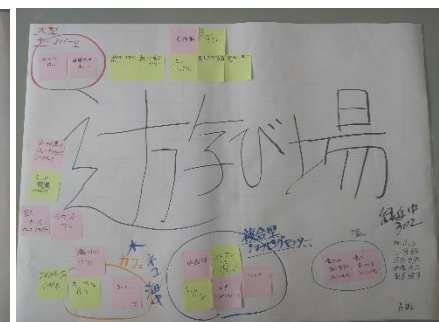
緑丘中学校②



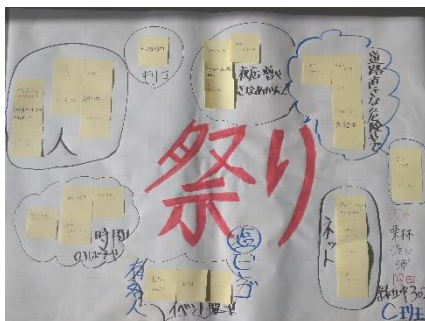
緑丘中学校③



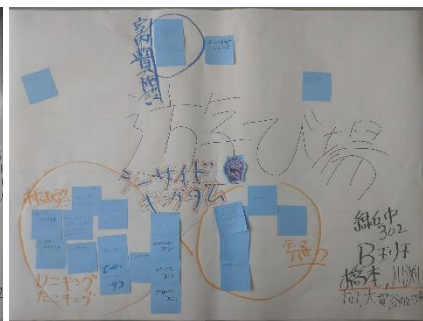
緑丘中学校④



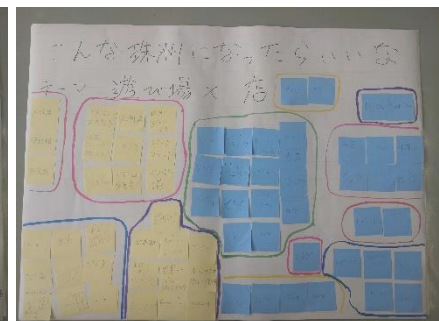
緑丘中学校⑤



緑丘中学校⑥



緑丘中学校⑦



緑丘中学校⑧

## ●復興計画との関連

ワークショップの結果を復興計画と関連づけ、計画の推進に役立てます。

大施策	中施策	ワークショップの結果 ●本会場 ○サテライト会場
1－3 危機管理対応の検証と充実	(4) 災害教訓の伝承、防災教育の推進	<p>●「災害が起きたときにどのように行動すべきか」を事前に認知することが重要である。今回の震災と豪雨災害での経験を記録し、資料として残す。災害を再現する実験施設を作り、災害を体験しながら対応方法を学ぶ</p> <p>➡災害記録誌を作成し、防災訓練などを通じて伝承する事業を計画に位置づけており、災害時の対応方法を学ぶ機会を拡充します</p>
2－1 暮らしと住まいの再建	(4) 住宅再建への支援	<p>●空き地や空き家が増える中で住宅が増えるためには情報でつながることが大事。中学生ができる具体的な取組として「チラシづくり」を考えた。自分のまちの空き地や空き家の情報を集め発信することで、住宅が増え、まちを再生させたい</p> <p>➡住宅再建への支援を計画に位置づけており、中学生との連携や情報発信を検討します</p>
2－6 地域公共交通の再建	(1) 持続可能な地域公共交通のあり方の検討	<p>●珠洲市に商業施設等をすべて揃えなくても、金沢等へのアクセス性を高めることで、買い物や映画鑑賞等やりたいことができる</p> <p>➡バス、タクシーの事業継続を計画に位置づけており、金沢への公共交通の維持に関しても進めます</p>
3－5 商店街・市街地の再建	(1) 商店街・市街地のまちづくり支援	<p>●空き地、空き家を利用してお店をつくる、空き地を公園にできないか</p> <p>○服屋、家電店、ゲームセンター、カフェ、カラオケ</p> <p>○ショッピングモール、チェーン店</p> <p>➡飯田町等を中心に仮設・復興商店街の整備を復興計画に位置づけており、お店の整備を進めます</p> <p>●雨が降っても遊べる空間が欲しい</p> <p>●中学生が放課後に集まれる場所が欲しい</p> <p>○遊び場、仕事場、DIY、ワークショップブース</p> <p>○食を楽しむ歴史を学ぶ文化館（中学生がボランティア運営）</p> <p>➡商店街や市街地のまちづくり支援を進める中で、子ども達が集まれる場所づくりを検討します</p>
	(2) 賑わい創出支援	<p>●移動販売の充実（特に服と本が欲しい）。中学生から企業に、お願いのメッセージを送ったらどうか</p> <p>➡商店街の賑わい創出支援を位置づけており、移動販売の誘致も検討します</p>
3－6 観光産業の再建	(7) 広域観光の取組強化	<p>●自然を生かした遊び場を作ることや、海でカヌーやSUP体験ができるとよい。海上アスレチックがあるとよい</p> <p>○ライブ会場、グランピング、温浴施設、フォレストアドベンチャー、水族館、映画館、テーマパーク、観光施設</p> <p>➡珠洲らしい観光資源を活かした広域観光の推進を位置づけており、海の活用に関する検討を進めます</p>
4－4 世界農業遺産など「珠洲ブランド」の価値向上	(5) 伝統文化や祭礼、伝統産業の継承	<p>●祭りの楽しさを全国にPRし、珠洲に人を呼び込む。中学生が撮影した祭りの映像や音楽によるPR、キリコの展示などを実施し祭りの期間以外にPRする場を設ける。ヨバレや食の出店は親に手伝ってもらおう</p> <p>○文化、祭り、イベントの復興、キリコ祭り時間延長</p> <p>○SNSによる発信、YouTuberとコラボ</p> <p>➡祭りデータベースの活用により、祭礼等を見聞できる機会を創出する事業を計画に位置づけており、中学生との連携も検討します</p>



## 第2回 珠洲の未来を考えるワークショップ（小学生） 実施報告

実施概要	
主 旨	珠洲市復興計画を策定するにあたり、珠洲市の将来を担う子どもたちがまちづくりについて考える機会とする、市内の小中学生対象のワークショップを実施する。6、7月に実施した各学校での第1回ワークショップを受け、第2回はオンラインも併用し市内各学校を横断して実施することで、児童生徒の考えを広げ、深める機会とする。発案いただいたアイデアは復興計画の施策の取り組みとして検討する。
日 時	令和6年12月17日(火) 13:40～15:10
開催形式	オンライン併用方式
開催場所	本会場：珠洲市産業センター2階 サテライト会場：各学校
対 象	市内小学校4～6年生 全生徒（うち、各学校から数名ずつ代表者を選定）
内 容	第1回ワークショップで出た意見や先進事例、珠洲市民アンケート結果などの情報を共有し、未来の珠洲市のまちづくりについて考えてもらい、グループごとに議論、発表をしてもらった。代表者が集まっている会場、各学校、それぞれグループに分かれて、同じ内容で議論をした。 小学生は、「どんな学校だったら楽しいか」をテーマにアイデアを出し合った。グループワークの後、会場のグループに発表してもらい、オンライン参加者も発表を聞いて考えを広めたり深めたりする機会となった。また、グラフィックレコーディングの専門家に発表内容をグラフィックにまとめてもらい、専門家から発表していただいた。

### ●ワークショップ全体とりまとめ

## 第2回 珠洲の未来を考えるワークショップ：小学生

①

2024.12.17

**「どんな小学校だったら楽しい？」を考えよう**  
 ○学校の楽しいこと、「自慢」したいことを考えよう

・1年生から9年生まで  
みんな仲良し

・誰にでも  
やさしい

・だれかが誕生日の  
ときは、色紙などの  
プレゼントをあげる

・笑顔がたくさん

・給食が美味しい

・魚が  
おいしい

・大きな声で  
あいさつ

・大きな声で  
あいさつ

・相撲大会

・教室からの  
景色がきれい

・海

・学校が大きい

・体育館が広い

・みそを作る

・先生が面白い

・楽しく  
授業を  
してくれる

○オンライン参加の意見

〈鵜島小学校〉

・楽しい授業

・仲良し集会

・合同運動会

・カニ給食

・学校オリジナル  
キャラクターがいる

・カラオケ大会や  
スイカ割りなどの  
行事

・仲が良い、あいさつが  
大きい

・先生が面白い

・授業が  
楽しい

・学校が大きい

・体育館が広い

〈若山小学校〉

・アイディア

・他の学校と  
お絵かき  
ドットボール

・アイディア

・他の学校と  
お絵かき  
ドットボール

・アイディア

・他の学校と  
お絵かき  
ドットボール

●発案したアイデア

〈A〉



●議論の内容

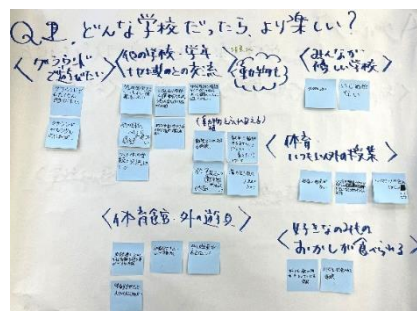
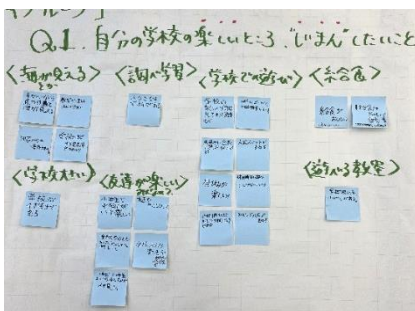
〈学校の楽しい時間、楽しいところ、自慢したいところ〉

- ・海等の自然が見えるところ：4階から見附島と海がみえる、教室から見える立山連峰がきれい、学校の窓から見える海がきれい
- ・学校が大きい：学校が4階建てで大きさが自慢だ
- ・調べ学習など特徴的な授業がある：「ふるさとすず科」という授業がある
- ・学校での遊び：「たてわり遊び」がある、「ハッピーライフ」がある、昼休みに全校で遊ぶイベントがある、昼休みが楽しい、休み時間のドッジボール、1か月に1回タイピングオリンピックがある（正院小）
- ・給食がおいしい：魚がおいしい

〈より楽しい学校にするためのアイデア〉

- ・グラウンドで遊びたい：グラウンドがもう少し広かったらよい（現在は仮設住宅が建っている）、グラウンドで思いっきり遊びたい
- ・他の学校や学年・地域との交流を行いたい：いろんな小学校と運動会やマラソン大会などを行いたい、他の学校や地域との交流を増やしたい、（小中学校は）中学生との時間が違うから、もっと一緒に遊びたい
- ・動植物と触れ合える学校：動物と触れ合える学校、教室で植物（朝顔などの花）を育てたい、海の生き物と触れ合いたい
- ・みんなに優しい学校：ケンカをしない、いじめのない学校
- ・体育の授業やいつもと違う授業：体育の時間が多い、いつもの授業ではなくイベント等をする、タイピング大会をしたい（正院小学校に触発されて意見）
- ・好きな飲み物やお菓子が食べられる：好きな飲み物を持っていける学校、お菓子が食べられる学校
- ・体育館などの利用：放課後に体育館が使える、体育館でサッカーができる、体育館をもっと大きくしてほしい、外の遊具がもっとほしい

●模造紙



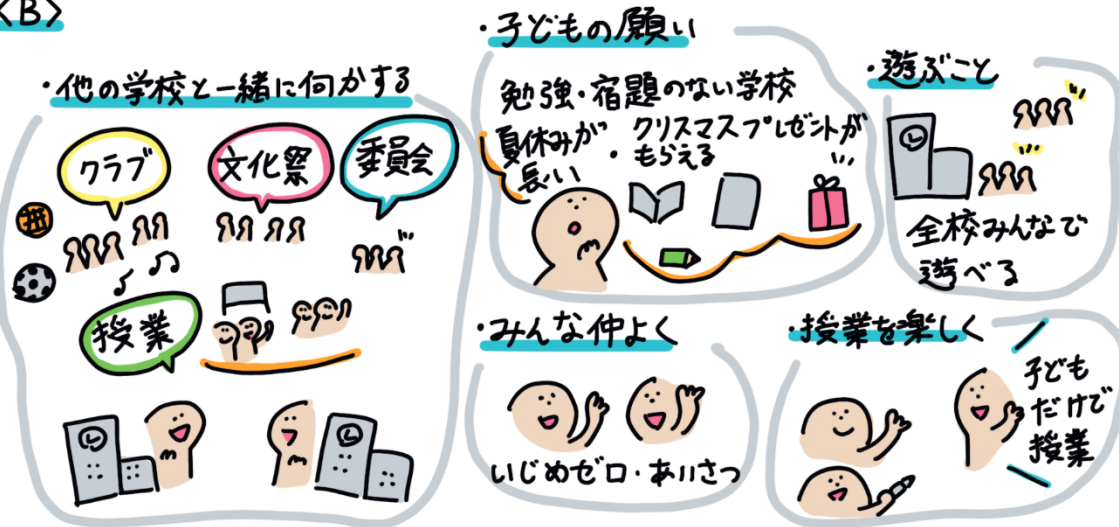
●グループの様子





●発案したアイデア

〈B〉



●議論の内容

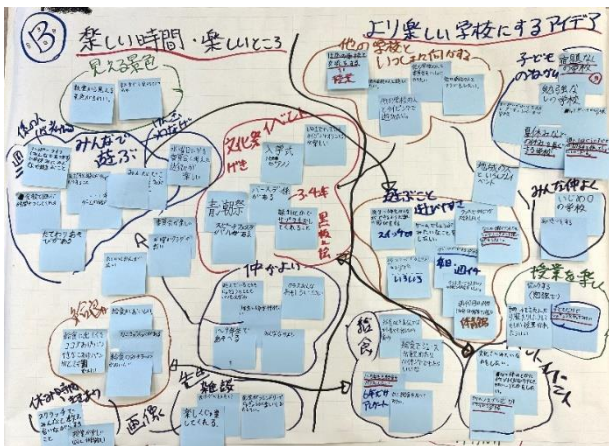
〈学校の楽しい時間、楽しいところ、自慢したいところ〉

- みんなで遊ぶ時間を挙げた児童が多く、全校生徒が集まる学校、委員会で遊ぶ内容を考えるなど、学校によって特色があった。
- 給食の時間は好きな児童が多く、蛸島小は「カニ給食」が自慢。
- 文化祭、スピーチフェスティバル、タイピングオリンピック、誕生日のサプライズなど、イベントが好きな児童も多かった。
- 「みんなの仲が良い」、「先生が楽しい」など人間関係はとても良好であると見受けられた。

〈より楽しい学校にするためのアイデア〉

- 他の学校と一緒に何かすることをアイデアとして出してくれた児童が多く、授業、遊び、委員会、クラブ、タイピングの競争などが具体的なアイデアとして出た。
- 遊ぶことに関しては、全校で競いあうことや、遊び道具の充実、ゲームを学校に持ち込んで遊ぶ日等が挙げた。
- 授業を楽しくするため、子どもが先生役をする授業、本を読んだり居眠りしたり自由な授業、みんなで協力して考えたり教え合う授業という、アイデアが特徴的であった。
- 給食では、みんなでリクエストする取組や、おしゃべりしながら食べる工夫などが挙げた。
- 実現は難しいかもしれないが、子どもの永遠の願いとして、宿題無しの学校、夏休みが長い学校、子どもが宿題を出す学校、勉強しない学校などの意見も挙げた。

●模造紙



●グループの様子





●発案したアイデア

〈C〉

・みんなで仲良くする



・いろんな学校がイッしょ



合同運動会

・特別な1日を作る



・もっと人数が多い



・学校で祭り・イベント



フェスティバル

●議論の内容

〈学校の楽しい時間、楽しいところ、自慢したいところ〉

- 先生や友達がおもしろいという意見が最も多く、先生と生徒、生徒同士の良好な関係性が伺えた。
- 教室から海が見える、浜辺でマラソン大会をするという珠洲の地域性が現れた意見が挙げられた。
- クラブ活動や「仲良し集会」や「ハッピーライフ」という、運動や遊びを朝の時間や放課後にすることが楽しいという意見も挙がり、各々の学校でオリジナルな運動・遊びの機会の提供があると感じられた。
- 少人数であるため、生徒一人ひとりの行動力が養われるところも印象的だった。一方で、震災以降の転出等で友達が減ったことや小人数過ぎることを寂しく思う節も見られた。

〈より楽しい学校にするためのアイデア〉

- 他校と交流したり、大人数で何かできたら楽しい、たまには面子や環境の変化が欲しいということで、「合同運動会」や「合同授業」を開催したいという意見が多かった。
- また、日常的な楽しい授業をずっとやっていきたいということから、図工や体育等この授業しかない特別な1日を設けるという案も生まれた。

●模造紙



●グループの様子



●発案したアイデア



●議論の内容

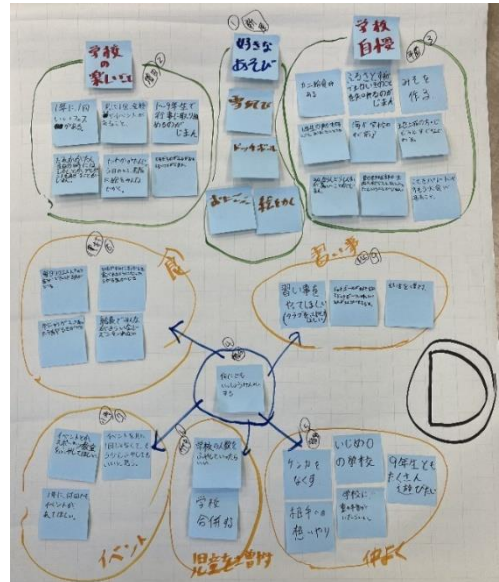
〈学校の楽しい時間、楽しいところ、自慢したいところ〉

- 自己紹介の好きな遊びについて、各自で話をした後付箋に書いて貼りだした。ドッチボール、鬼ごっこの意見が多かったが、絵を書くことが楽しいという子もいた。
- 学校の楽しい事について、各学校の特色もあり意見は多様となった。1年に1回のフェスや、毎月の全校イベント、1年から9年までの合同行事、誕生日に黒板にその子に向けてみんなで絵を書くなど、みんなで取り組むことが楽しいという印象であった。
- 学校自慢に関しても各校で特色があり、カニ給食、味噌づくり、鼓笛パレードや相撲大会など、オリジナルな取り組みを自慢にしている。また、海が近いことやふるさと珠洲を良く知れること、運動神経が高い子が多いという意見もあった。

〈より楽しい学校にするためのアイデア〉

- 共通して児童の数が多いと楽しいという根本に繋がるような意見が多数となった。習い事を増やす、クラブを増やす、イベントの数を増やす、先輩とたくさん遊ぶ機会を増やす、学校の人数を増やす、学校を合併するという意見が挙がった。
- また、いじめやケンカを無くすという意見、相手を思い遣るという意見もあり、友達同士仲良い学校が理想という意見もあった。
- 少し面白い意見として、学校に動物がいたらよいとの話もあり、昔当たり前にあった飼育小屋に動物がいる風景が、今は当たり前ではない時代という事も分かった。周回している先生方に理由を尋ねると、特別飼ってはいけないとはなっていないとの事。教職員の負担軽減やアレルギー対策等で自然にそのようになってきていると感じる。動物の飼育は情操教育の大切な部分でもあると思うが・・・
- 給食に関する意見もあり、食べる事は人間の欲求として重要と感じた。
- 6年生の子が最後に「何でも一生懸命にすることが学校の楽しさに繋がる」と出してくれ、それは全員が納得いく意見となり、それが最も重要な事としてまとまった。

●模造紙



●グループの様子





## サテライト会場

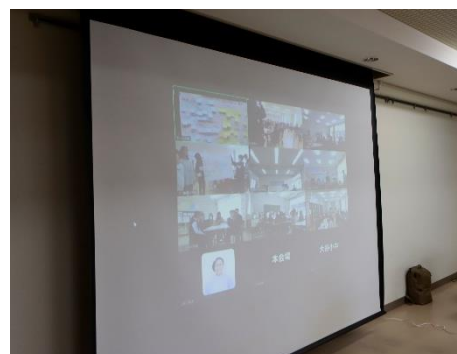
### 宝立小中学校前期課程、上戸小学校、飯田小学校、若山小学校 直小学校、正院小学校、蛸島小学校、みさき小学校

#### ○サテライト会場での進め方

各学校をオンラインで接続し、本会場と同様のお題に基づいて意見交換を進めた。進め方としては、各学校の先生がファシリテーションを行い、生徒の意見を模造紙にまとめた。

#### ○意見の共有方法

本会場のグループは接続カメラに向かって発表を行い、その内容をサテライト会場に共有した。時間の都合上、サテライト会場からは2校の発表のみとなったが、本会場と意見を共有した。発表いただいた2校の意見は全体グラフィックに掲載し、グラフィッカーより全体へ発表いただいた。



オンラインの様子

小学校	主な意見
	① 学校の楽しい時間、楽しいところ、自慢したいところ ② より楽しい学校にするためのアイデア
共通の意見	① 地域の人との交流が多い、友達と仲良し、給食がおいしい、自然豊か、あいさつが元気、クラブ活動が楽しい、先生が面白い ② クラブの種類を増やす、給食を選べるようにする、給食の種類を増やす、おやつタイムが欲しい、ゲームを持っていきたい、遊具を増やしてほしい、エレベーターを設置してほしい、体育を増やしてほしい
宝立小中学校	① 小中一貫で中学生と交流が深い、文化祭が楽しい ② 縦割りの交流を増やす、クラブの種類を増やす、もっと体育をしたい、理科で面白い実験をしたい、外国人と交流したい
上戸小学校	① 少人数で仲が良い、広く使える、すこやか会（スポーツ、キャラゲ等） ② 私服で登校したい、体験する授業が欲しい、音楽の集いを毎年したい、新しいグラウンドを作してほしい、他校との交流を増やしたい
飯田小学校	① 行事が多い（子どもキリコ、鼓笛、プール等）、伝統がある（開校152年） ② 果物、動物を育てたい、遊び（種類、場所、時間）を増やしたい、花壇の復活、学校ルール緩和、温水プール、飯田小独自の授業・行事を増やす
若山小学校	① 若山小だけのキャラクター、行事が多い（カラオケ等）、野菜の栽培 ② 人数が増えてほしい、自分たちが考えた行事で他校と交流したい、昼寝の時間が欲しい、学校で映画を見たい、学校でお泊り会をしたい
直小学校	① お楽しみ会が楽しい、授業が楽しい、みんなで遊ぶ時間が楽しい ② 全学校で行事や大会をしたい、オンライン授業を増やしたい、カードゲームなど教室で遊べる道具を増やしたい、私服で通学したい
正院小学校	① 移動式遊び場がある、鼓笛パレード、ふれあい集会の学年発表が楽しい ② 通常の休み時間でも体育館を使えるようにしたい、給食当番があるため4時間目は延長しないでほしい、職員室に入りやすくしてほしい
蛸島小学校	① 仲良し集会、カニ給食、海が見える、合同運動会、授業が楽しい ② 他校とお絵描き大会やドッジボール大会をしたい、みんなで遊べるゲームを考えて仲を深めたい
みさき小学校	① 教室から海が見える、他学年との交流が多い、授業が楽しい ② 休み時間を増やす、人間関係をよくする（いじめをなくす、気遣う、平等）、ルールを守る、グラウンドで遊びたい、他校との交流を増やす



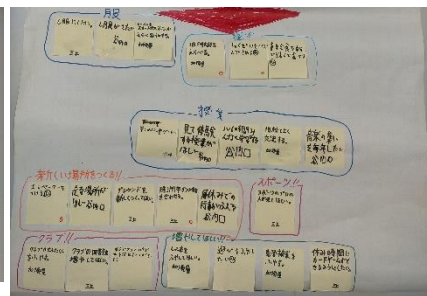
## 模造紙



宝立小中学校



上戸小学校①



上戸小学校②



飯田小学校①



飯田小学校②



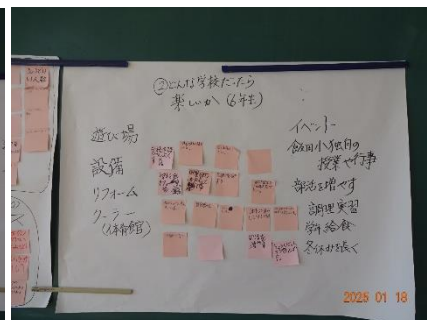
飯田小学校③



飯田小学校④



飯田小学校⑤



飯田小学校⑥



若山小学校



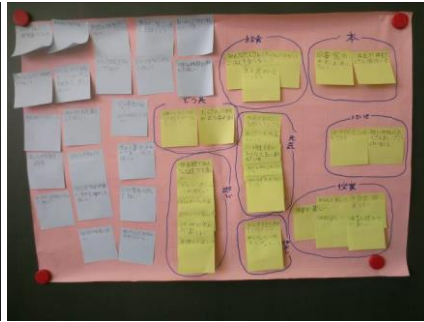
直小学校①



直小学校②



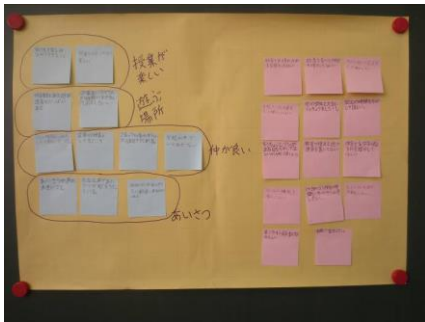
直小学校③



直小学校④



直小学校⑤



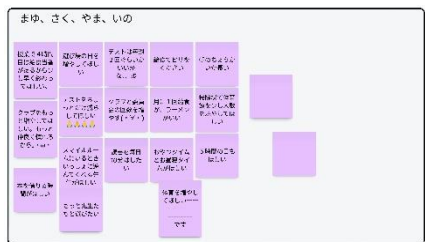
直小学校⑥



正院小学校①



正院小学校②



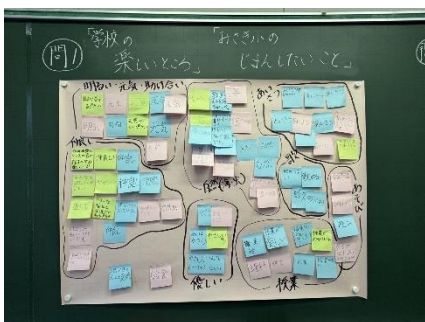
正院小学校③



正院小学校④



蛸島小学校



みさき小学校①



みさき小学校②

## ●復興計画との関連

ワークショップの結果を復興計画と関連づけ、計画の推進に役立てます。

大施策	中施策	ワークショップの結果 ●本会場 ○サテライト会場 ◎両方
2-4 学びの環境の再建	(1) 学校施設等の早期復旧	◎グラウンドで思いっきり遊びたい（今は仮設住宅が立地） ◎遊具がもっと欲しい ➡応急グラウンドの整備を復興計画に位置づけ進めています ◎学校の人数を増やす、学校を合併する ➡今後、児童・生徒数の減少を見極め、望ましい教育環境のあり方を検討する事業を位置付けています
	(2) 学びの継続支援等	◎他校との交流、合同開催（授業、運動会、遊び、委員会、クラブ、子どもが考えた行事、タイピングの競争など） ○オンライン授業を増やす ➡オンライン教育の充実を復興計画の事業に位置付けており、学校間の連携を促進します ◎みんなでリクエストする給食、おしゃべりしながらの給食 ➡給食を通じた食育を位置付けており実施時の参考とします
	(5) 被災した児童の心のケア	◎みんなに優しい学校、いじめのない学校 ➡不安や悩みを抱える児童・生徒の心のケアを図るため、スクールカウンセラーの派遣を継続実施します
	(6) 魅力ある学校づくりの推進	◎動植物と触れ合える学校、動物を飼う、果物・花壇を育てる ➡SDGs学習の充実を位置付けており、ふるさとの自然、歴史、文化、産業等を学ぶ教育活動を推進します ●体育館などの放課後の利用 ➡地域・家庭・学校が連携し放課後子ども教室を運営することを位置付けており、体育館の放課後利用を進めます ◎特色ある授業（子どもが先生役、本を読んだり昼寝・居眠りをする自由な授業、体験する授業など） ○体育を増やす、温水プール、理科で面白い実験 ●特別な1日をつくる（体育の授業が多い日、図工だけの日） ◎全校生徒で競い合うイベントの開催、縦割りの交流 ◎好きな飲み物やお菓子が食べられる、おやつタイム ◎遊びの時間の充実 ○クラブの種類を増やす ○外国人と交流 ○入りやすい職員室 ➡魅力ある学校づくりを計画に位置付けており、楽しい学校をつくるアイデアとして参考にします ◎ゲームを持ち込む、カードゲーム等を増やす ○ルールの緩和、私服で登下校 ●宿題無し、夏休みを長く、子どもが宿題を出す等 ➡魅力ある学校づくりを検討する際に、具体的なニーズとして参考とします